

【研究テーマ紹介】 パンデミック状況下におけるオンライン学習に関する研究
(M2 阿部竜起)

こんにちは。M2の阿部竜起です。

現在の研究対象は、パンデミック状況におけるオンライン学習の教育的かつ社会的役割です。（他にも「どのようにしたらもっと効果的に学べるのか?」、「何かが足りないと思われる場合その何かとは?」など悶々と考えています）

私自身の経験・背景として、PBL⁴、プロジェクト基盤型学習、ポートフォリオ⁵など主体的・協働的な学習方法がたくさん詰まった医学教育カリキュラムを体験したこともあり、学習の社会構築主義的な見方に大きな興味を持っています。

振り返り、交渉、ピアとのコミュニケーションなどを通じて学ぶ過程にいつも喜びを感じていたので、引き続きこのように学び続け、将来のピアとの相互学習を実施してその喜びを広めていきたいと思っています。

私はCovid19が本格的に猛威を振り始めた2020年の4月（WHOによると感染者数が100万人を超えたあたり）⁶にICMEに入学したので、私の大学院経験は、「パンデミック」という状況と恐らくこれを読んでいる皆さんが等しく体験したであろう「生活様式の変化」を中心に展開されてきました。

これをオンライン上（同時に私たちの頭の中）で進行している学習過程の背後にある思考や概念を振り返る絶好の機会として考えています。

COVID19による生活様式の変化によって与えられたこの機会を利用して、私はまず「現在の状況でどのような研究が可能か」を考え、大西先生と話し合った後、純粋な好奇心から出た問いをベースに現在の研究をすることにしました。

「他の学生は現在の状況についてどのように感じているだろう？」

現在の研究は質的研究であり、以前関わった研究経験と比べると大分違った事を行います（医学部では2つ量的研究をしました）。これは、私が修士課程で完全にゼロから学んだことの1つ（これ以外にももちろんたくさんある）で、これからは積極的に自分が

⁴ Hmelo-Silver, C. E. (2004). Problem-based learning: What and how do students learn?. Educational psychology review, 16(3), 235-266.

⁵ Buckley, S., Coleman, J., Davison, I., Khan, K. S., Zamora, J., Malick, S., ... & Sayers, J. (2009). The educational effects of portfolios on undergraduate student learning: a Best Evidence Medical Education (BEME) systematic review. BEME Guide No. 11. Medical teacher, 31(4), 282-298.

⁶ WHO; Coronavirus disease 2019 (COVID-19) Situation Report – 75 (2021). Retrieved 16 July 2021, from: <https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/situation-reports/20200404-sitrep-75-covid-19.pdf>

学んだ事を発信していきたいと思っています。現在、思考から紡ぎ出される様々な「ことば」から洞察を重ねるという質的研究の過程をととても楽しんでいます！

他にも散らかった私の頭の中に回っている様々なことについて話したい気もしますが、あまりにもまとまりがなくなる前にここで一旦止めます。とりあえず引き続き楽しくみんなでお話し合いながら研究を進め、知見を少しでも深めていきたいです。

[阿部竜起]